

すべてのアプリ

○



OneDrive



OneNote for Windows 10



Outlook



Outlook (new)

1. Outlookの起動

Windows メニューから Outlook (New) のアイコンをクリック。
Outlook を立ち上げます。

新しい Outlook へようこそ



Outlook では、Microsoft 365、Gmail、
Yahoo、iCloud、iMAP がサポートされていま
す。 [詳細を表示](#)

おすすめのアカウント ①

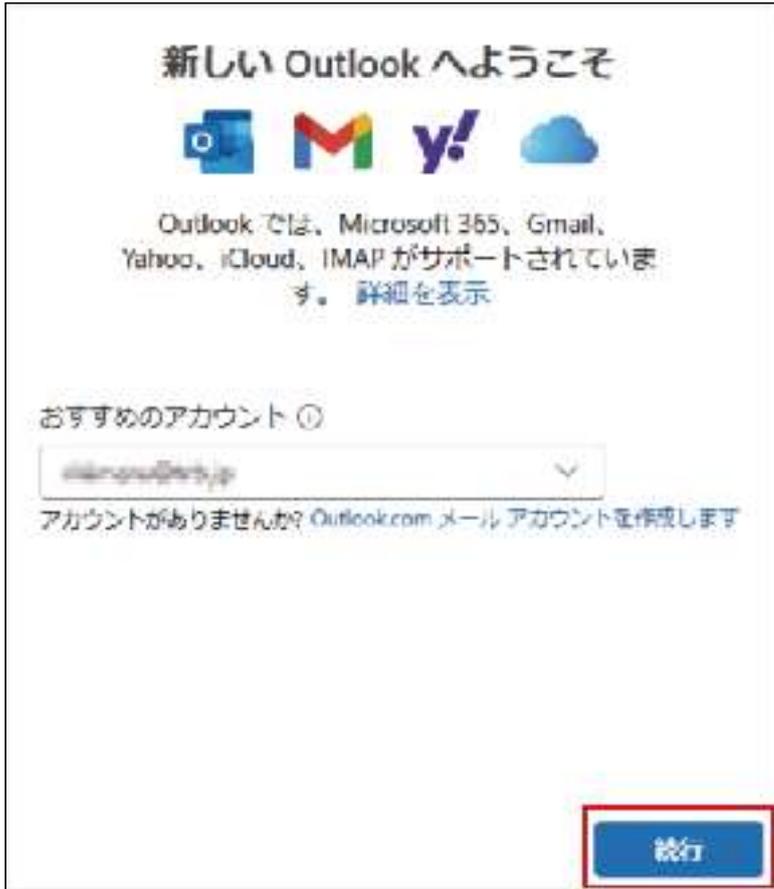
有効なメールアドレスを入力してください。

アカウントがありませんか? [Outlook.com メールアカウントを作成します](#)

1-1. 初めて Outlook を利用する場合

1. 赤の枠線内「Outlook.com メールアカウントを作成します」をクリックします。
2. チュートリアルに沿ってメールアドレスを作成してください。

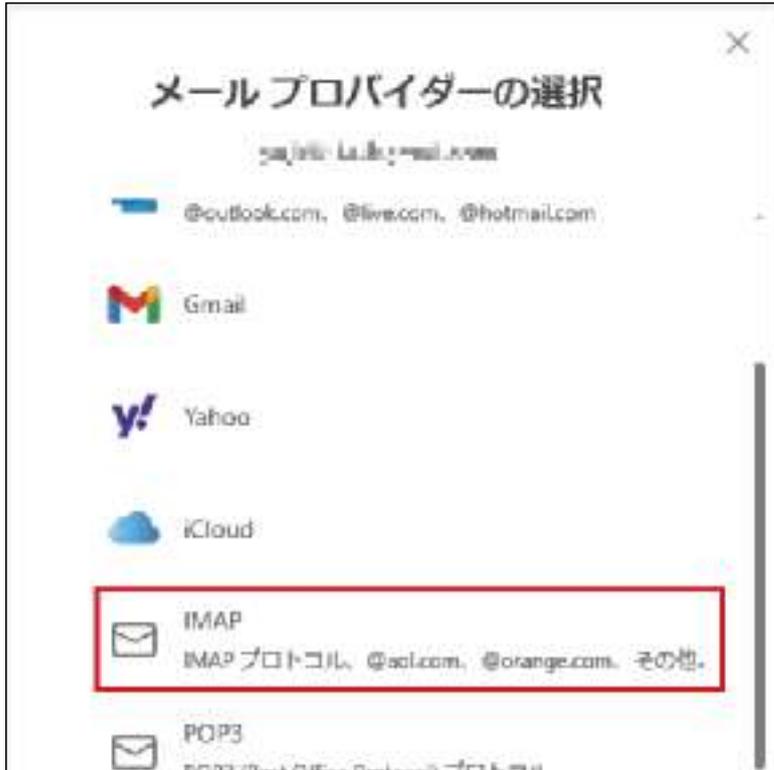
➡2. アカウントの種類をクリックに進んでください。



1-2. すでに Outlook を利用中の場合

1. Outlook を立ち上げます。
2. 赤の枠線内「続行」をクリックしてください。

1. パスワードを入力します。
2. 赤の枠線内「プロバイダーを選択」をクリックします。



2. アカウントの種類をクリック

IMAPとPOP3はメールの受信に使われる通信プロトコルです。OutlookやThunderbirdをはじめとする、メールソフトにおける受信に用いられています。メールアカウント設定の際に、**IMAPもしくはPOP3**のどちらかを選択していただく必要があります。スマートフォンの普及で**複数デバイスからアクセスすることが当たり前になった現在は、IMAPが主流**です。

2-1.IMAP の場合

「IMAP」をクリックします。

IMAPとは、メールがサーバー上へ送られ、一時的なキャッシュ(保存データ)をパソコン上で管理する仕組みです。

メリットは以下の通りです。

- 会社や自宅のパソコン、スマートフォンなど複数のデバイスから同じメールアカウントへ同時にアクセスできる。
- パソコンが壊れても他のパソコンやスマートフォンなどのデバイスから確認できる

デメリットは以下の通りです。

- インターネットに接続していないとメールが閲覧できない
- メールは削除しない限りサーバーから消えないため、メールサーバーの容量が圧迫される

2-2.POP3 の場合

「POP3」をクリックします。

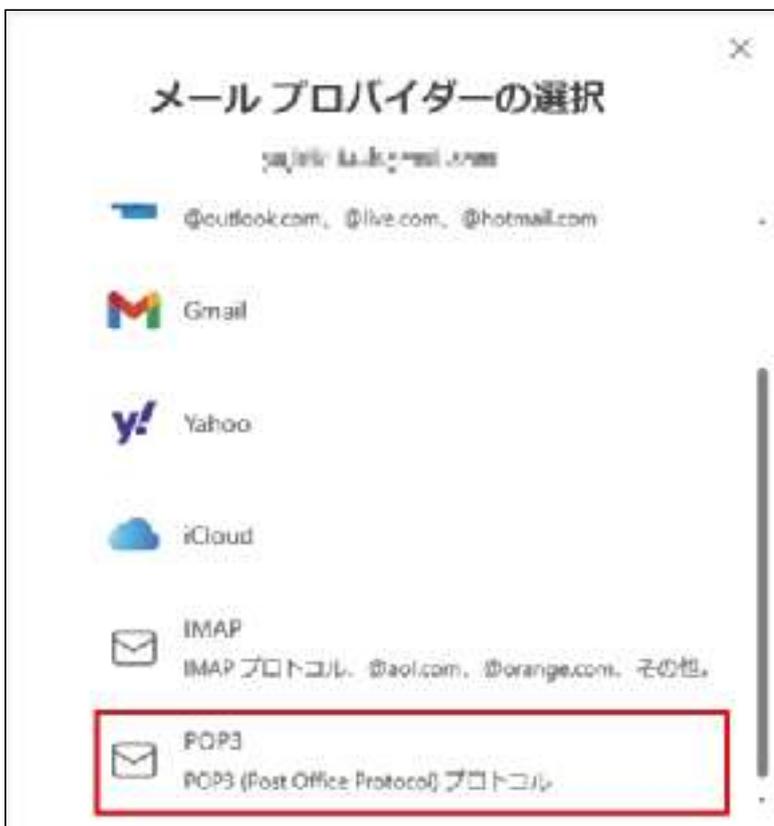
POP3とは、パソコン自身へメールをダウンロードする仕組みです。

メリットは以下の通りです。

- 自身のパソコンへ保存されるため、一度受信したメールはインターネットにつながってなくても閲覧できる
- サーバーには保存されないため、サーバー容量を気にしなくて済む ※オプションでメールをサーバー上へ残しておくこともできる

デメリットは以下の通りです。

- 一台の端末でしかメールの受信ができない
- メールソフトを使用している端末が故障してしまうとメールが見られなくなる



3. アカウントの設定

3-1.IMAP の場合

1. 赤枠内に必要事項を入力します。
2. 「続行」をクリックしてください。

※受信サーバー/送信サーバーに入力する項目は下表を参照

受信サーバー	
IMAP 受信サーバー	設定完了メールに記載の「メールサーバー」を入力 ※サーバーパネル内「サーバー情報」に記載のホスト名と同一です。 例) sv***xserver.jp
ポート	993
セキュア接続タイプ	SSL/TLS (推奨)

送信サーバー	
SMTP 送信サーバー	設定完了メールに記載の「メールサーバー」を入力 ※サーバーパネル内「サーバー情報」に記載のホスト名と同一です。 例) sv***xserver.jp
ポート	465
セキュア接続タイプ	SSL/TLS (推奨)

その他
pop3@xserver.jp



IMAP/POP パスワード * ①

パスワードを忘れた場合

表示数を増やす

おすすめの設定を使用する

POP 受信サーバー * ポート *

sv***xserver.jp 995

セキュア接続タイプ

SSL / TLS (推奨) ▼

SMTP 構成

SMTPユーザー名 *

sample@example.com

SMTPパスワード

IMAP/POP パスワードと異なる場合は、SMTP パスワードを入力してください。

SMTP送信サーバー * ポート *

sv***xserver.jp 465

セキュア接続タイプ

SSL / TLS (推奨) ▼

3-2.POP3 の場合

1. 赤枠内に必要事項を入力します。
2. 「続行」をクリックしてください。

※受信サーバー／送信サーバーに入力する項目は下表を参照

受信サーバー	
IMAP 受信サーバー	設定完了メールに記載の「メールサーバー」を入力 ※サーバーパネル内「サーバー情報」に記載のホスト名と同一です。 例) sv***xserver.jp
ポート	995
セキュア接続タイプ	SSL/TLS (推奨)

送信サーバー	
SMTP 送信サーバー	設定完了メールに記載の「メールサーバー」を入力 ※サーバーパネル内「サーバー情報」に記載のホスト名と同一です。 例) sv***xserver.jp
ポート	465
セキュア接続タイプ	SSL/TLS (推奨)

その他
y.j@nifty.ne.jp



IMAP/POP パスワード * ①

パスワードを忘れた場合
表示数を増やす

続行 プロバイダーを選択



POP3 アカウントを同期する
y.j@nifty.ne.jp



POP3 アカウントを Outlook に追加するには、
メールを Microsoft Cloud と同期する必要があります。
既存の連絡先とイベントは同期されませんが、
Outlook で作成したものはすべて Microsoft Cloud に保存されます。 [詳細情報](#)

続行 キャンセル

4. パスワード入力以降の作業

4-1.

1. パスワードを入力します。
2. 赤の枠線内「続行」をクリックしてください。

4-2.

赤の枠線内「続行」をクリックします。

Microsoft はお客様のプライバシーを尊重しています

© 2019 Microsoft Corporation



データを Outlook に委ねる場合でも、そのデータの所有者はユーザーのままです。

必須の診断データ

Outlook がインストールされているデバイスで Outlook のセキュリティ、最新の状態、適切な動作を維持するために、必要な診断データを収集します。これは Outlook の基本的な機能に関連しており、名前、メールの内容、Outlook とは無関係なアプリに関する情報は含まれていません。詳細情報

次へ



一緒に進歩する

© 2019 Microsoft Corporation



追加の診断データと利用状況データを Microsoft に送信していただくと、継続して改善を行うことができます。これらのデータには、ユーザーの名前、メールの内容、Outlook とは無関係なアプリに関する情報は含まれません。詳細情報。

Outlook に関するオプションのデータを Microsoft に送信しますか？

- はい、オプションのデータを送信します
- いいえ、オプションのデータを送信しません

承諾

4-3.

「次へ」をクリックします。

4-4.

1. 「Outlook に関するオプションのデータを Microsoft に送信しますか？」の箇所はどちらかを選択します（どちらでも OK）。
2. 「承諾」をクリックします。

エクスペリエンスの強化

Microsoft 365



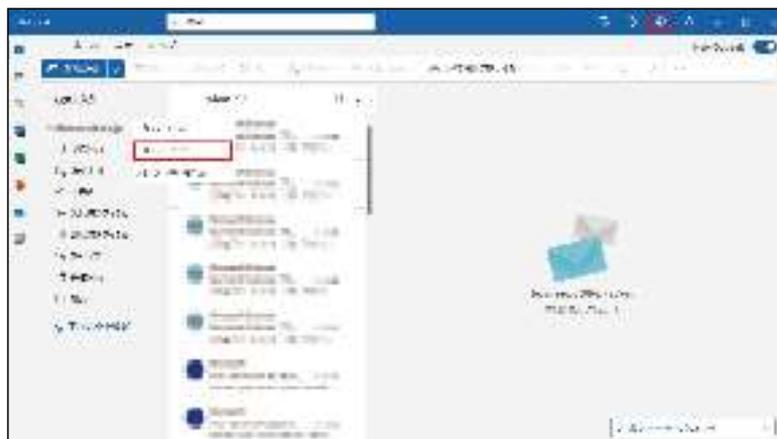
Outlook には、作成、コミュニケーション、共有作業をより効果的に行うためのオンラインサービスに接続するエクスペリエンスが含まれています。これらの接続エクスペリエンスの中には、コンテンツを分析して提案や推奨事項を提供するものもあります。接続エクスペリエンスを提供するために、Outlook は必要なサービスデータも収集します詳細情報。

接続エクスペリエンスを調整するには、プライバシー設定に移動します。

続行

4-5.

「続行」をクリックします。



5. Outlookメイン画面の確認

5-1.

登録が完了したら Outlook のメイン画面が出てきます。

1. 自分のメールアドレス右側の「・・・」から「アカウントの管理」
2. もしくはメイン画面右側の「設定 (歯車の形)」マークをクリックします。

5-2.

1. アカウント管理画面が出てきます。
2. 自分のメールアドレスの下に「POP3 (IMAP の場合は IMAP)」と表示されていれば成功です。